

第2回（仮称）かつしかアート・カルチャー基本方針策定委員会 議事録

日 時	令和6年9月27日（金）午前10時00分から正午まで
会 場	かつしかシンフォニーヒルズ別館4階「ラベンダー」
出席者	垣内 委員長 片山 副委員長 神保 委員 傍嶋 委員 齋藤 委員 堀口 委員 長南 委員 吉本 委員 吉田 委員 中島 委員
事務局	地域振興部文化国際課
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ (仮称) かつしかアート・カルチャー基本方針策定委員会 第2回検討資料</li> <li>・ // 第2回策定委員会検討資料 資料編</li> <li>・ // 策定スケジュール（予定）について</li> </ul> <p>(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査対象団体一覧</li> <li>・ ヒアリング調査結果</li> <li>・ 葛飾区文化芸術創造に関する助成制度の概要について</li> <li>・ 本区の現状と社会状況及び住民意識調査から得られた課題と取り組みの柱の関係図</li> </ul>
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本方針の趣旨と位置付けについて</li> <li>2 葛飾区の文化・芸術に係る現状と課題について ～ アンケート及びヒアリング調査の結果 ～</li> <li>3 基本方針の骨子案について</li> <li>4 今後のスケジュール（予定）について</li> <li>5 その他</li> </ol>
議事録	

<b>開会</b>	
事務局	<p>皆様、本日はスケジュールをご調整いただきましてありがとうございます。開催の前に、今回使用する資料について確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>不足等ありましたらお申し出いただければと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは委員長、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>改めましておはようございます。</p> <p>本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>早速ですが、第2回(仮称)かつしかアート・カルチャー基本方針策定委員会を開催いたします。</p>
<b>議題1～5</b>	
	<p><b>【議題1 基本方針の趣旨と位置付けについて】</b></p>
委員長	<p>それでは、議題1「基本方針の趣旨と位置付けについて」、事務局より内容のご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>では、検討資料2ページをご覧ください。第1章、基本方針策定の趣旨についてでございますが、前回策定委員会の中で、区の基本構想や基本計画との位置付けがわかりにくいとご議論いただきましたので、その点を踏まえて整理をいたしました。</p> <p>第1段落目と第2段落目につきましては、閣議決定された文化芸術の振興に関する基本方針や、文化芸術基本法による文化の定義について。そして第3段落、第4段落は区の基本構想、基本計画における区が目指すまちづくりについて記載をしております。第5段落目につきましては、これから区が抱える様々な課題を文化芸術という観点から、今後どのように取り組むのか、既にあるものをどう発展的に生かしていくのかを基本方針として定めるもの、と策定の趣旨を記載してございます。</p> <p>最後に、「なお」から始まる段落ですが、前回の策定委員会でたくさんご議論いただきました、(仮称)かつしかアート・カルチャー基本方針という名称について、この基本方針を手にとっていただいた方にも、こちらの思いを理解していただきたいという思いで、理由等を記載したものになります。次のページをご覧ください。</p> <p>こちらは基本方針の位置付けがわかるように図式化したものでございます。</p> <p>説明は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいまのご説明について、何かご意見、あるいはご質問等ございましたらお願いし</p>

	<p>たいと思います。これより意見交換と議論に入って参りますので、そちらの方で触れていただいても結構ですけれども、前回、たくさんの議論がございまして、それを反映した形で、今の資料を作っていただいているものですから、まずそこにつきましてご質問、不明な点等ありましたら頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>特になければですね、本日のメインテーマでございまして、議論の方に進めていきたいと思います。</p> <p><b>【議題2 葛飾区の文化・芸術に係る現状と課題について】</b></p> <p><b>【議題3 基本方針の骨子案について】</b></p>
<p>委員長</p>	<p>次の議題に移ります。議題2、3につきまして、関連する内容となりますので、一括して議論を進めたいと思います。</p> <p>議題2及び3につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>では検討資料の4ページ、第2章「葛飾区の文化芸術に係る現状と課題」についての章から説明をさせていただきます。</p> <p>先ほどご説明いたしました基本方針策定の趣旨でもあります基本方針で目指すまちづくりのために、本区の現状と社会状況について、まちづくりに通じる13項目を記載しております。</p> <p>こちらの13項目につきましては、8月にメールで確認していただきました項目と同じものになっております。</p> <p>次に、2番、区民意識調査の分析になりますが、昨年度11月に実施しました、区民モニターアンケート調査と今回実施しましたアンケート調査の結果についての記載になります。</p> <p>区民モニターについては、前回の策定委員会でお示ししたものと変更はございませんので説明は省略させていただきます。</p> <p>続きまして、アンケート調査になりますが、まず参考資料1をご覧いただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様よりいただきましたアンケート調査の対象団体につきましてですが、ご意見を踏まえて文化芸術団体を初め、産業や観光、高齢者、障害者、教育等、各種団体や地区センターを利用する団体、地域で活動し、助成金を受けている団体等、約555団体にアンケートを依頼し、330団体から回答いただきました。</p> <p>アンケート調査で、「No.5 葛飾区観光協会」は各支部にもご協力いただきましたが、正確な数字は把握できていないので1とさせていただきます。</p> <p>また「No.16 地区センター、学び交流館」こちらにつきましても、調査対象期間に施設を利用した団体に協力依頼をさせていただきます、こちらも施設の数22となって</p>

	<p>おりますが、こちらの期間で施設を利用した多くの方々にアンケートのご協力をいただいております。ですので、実際は 555 団体よりも多い団体に依頼しているという状況でございます。</p> <p>参考資料 1 の下の段、こちらの 8 団体にご協力をいただきました。</p> <p>ヒアリングの内容につきましては参考資料 2 の方に記載をしておりますので、あわせてご確認いただければと思います。</p> <p>なおこちらのヒアリングの内容につきましては、今後の検討の資料として使わせていただきたいと思っています。</p> <p>ヒアリング内容の説明の方は省略させていただきます。</p> <p>続きまして基本方針のためのアンケート調査の結果と分析について説明をさせていただきます。</p> <p>(アンケート調査の結果と分析について説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではここから意見交換に入って参りたいと思います。その前に机上配布の紙資料の方で、本日ご欠席の委員からもご意見を頂戴しております。これらを踏まえた上でそれぞれ先生方のご意見を賜りたいと思いますが、時間の制約もありますので席次順でご意見を賜り、一巡した後、さらに補足や追加のコメント等あれば挙手をお願いしたいと考えております。このようなやり方でよろしいでしょうか。資料の書きぶりから柱立て、こういう組み立てでいいのか等の大きいことから、それぞれの文言についてのご意見等、大小様々なご意見があるかと思いますが、少し時間を取ってコメントを頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>アンケートを取ったうえで、課題もある程度説明いただいたものと思っています。全部を全部取り組むというのはなかなか難しいところがあるんですけど、アンケートでの課題出しは私の実感ではできていると思います。取り組みの柱と、課題の紐づけはなかなか難しい面もあると思いますが、今日のご意見等を踏まえて、今後、一定程度の整理はしていくものとして、一旦の整理としてはある程度、基本方針案としてはまとまってきたのかなというふうに感じています。</p>
委員	<p>それでは教育関連ということで、文化財についてですが、資料 10 ページ⑩。</p> <p>ここに書かれているとおりで、文化財をこれからどう活用していくかというのは非常に重要で、これまで保存はしているものの、それを活用できていたかということ、そこは必ずしも十分ではないと思います。その一方で、資料の 15 ページに文化財等の自主的な観光資源の再発見という項目があるのですが、ここでは情報発信に留まっているので、もう 1 歩踏み込んだ記載ができると良いと思います。それと本区の現状と社会状況。ここがですね、ちょっと今回のこの基本方針との関連という点ではわかり難い</p>

	<p>というか、見えづらいので整理が必要かなと思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>文化財のところは確かに情報発信に焦点が当たっていますけれども、それ以外にも多くの区民の方に知っていただく、参加していただくためには、様々なやり方があると思います。具体的に今教育委員会で展開している活動も含め、どんなことを盛り込んだらいいかというようなところがあればご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>活用という点に重点を置いたほうが良いと思います。そこは教育委員会の弱いところかもしれませんけれども、どうしてもその活用ということを考えると、柴又の文化的景観であれば、主に観光事業のところでは活用したり、あとは文化財、今後は観光もそうなのですが、産業部門とどのように連携してやっていくかというのを課題と感じておりまして、その辺りの記載を今回の方針に書き込めると、私としてはありがたいなと思います。</p>
委員長	<p>文化財にはすぐれた価値がありますので、これをきちんと守っていきながら、あわせてその価値を減じない形で活用していく、広く多くの方々に知っていただき、また周辺のビジネスも裨益するような形で活用するということが今大きな課題になっておりますので、そのあたり少し書き込んでいただくということによろしいでしょうか。また、この現状と社会的状況が一番、多岐にわたって記載されていて、特に文化振興的に重要な部分とそうでない部分がある。なかなか文化だけでは対応できない部分も含まれているというのはもうご指摘のとおりだと思いますので、これはまた後程事務局の方で少し整理していただくということによろしいですかね。それでは続きまして、お願いいたします。</p>
委員	<p>非常に多岐にわたっていて、前回の議論でも文化とは何かというところも踏まえていたかもしれないのですが、計画の推進主体をどうするのか、それでまず何が一番課題で、ターゲットにしていくのかというのが見え難いと思っています。この中には、人の繋がりや新たな魅力と書いてあるのですが、新たなではなくて、今あるものも文化なんだとか、身近なものが葛飾の文化だったということ、小さい頃から認識していく風土の醸成の様なものがあったとしても良いのではないかと思います。ただ、そこは広げ過ぎると今後の推進体制や、進捗管理が大変であるならば、こういう課題も多々あるものの、特にここをやりたいというのがもう少し見える方針だと、伝わりやすいのではないかと感じました。</p> <p>それから産業の分野においては、生業としての産業そのものが文化だったり、実はアートに結びつくものなんだという、その取り組みはすごく必要だと思う一方、やはり産業として、きちんと商売として成り立つということが前提でなければならない。そ</p>

	<p>の辺りの前提として踏まえた感じが含まれた内容になれば良いと思っております。</p> <p>また、高齢者と障害者へ配慮した取り組みが必要と書いてありますが、ここは一緒に記載して良いものか、違和感があります。高齢者は体の部分や体力等配慮が必要などころもありますが、今後高齢者は大きな活力ある担い手でもあります。あと障害者の人にも、高齢な方もいれば、若い方もいるので、どういう意図で書くか、高齢者・障害者をどう捉えるのか、前提の分析が足りていない印象がございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。この方針の対象・ターゲットとする文化の範囲と、方針そのものの性格に疑問があるということだったかと思います。一般的に、こういう方針を策定する場合は、やっぱり役所が縦割りですので、他部局のものを急に取り込むというのはなかなか難しいところがございます。その中で、この後に区組織の見直しも書かれていますけれども、そういった辺りを踏まえてどの辺まで想定されているのか、もし、事務局から追加のコメント、ご説明があれば、この後の議論にも関わることかと思しますので、お願いいたします。</p>
事務局	<p>こちらの作成した趣旨のところなんですけども、あくまでも文化芸術を通して地域経済を発展させていくということもございますので、その中で、文化芸術基本方針にもありますように、障害者や教育や、産業、福祉、観光やそういうところと連携をして取り組んでいくという趣旨での記載になります。</p>
委員長	<p>あくまでこの文化芸術基本法を下敷きにした上で、葛飾区のアンケート等で見えてきた課題を盛り込んだあたりが主なターゲット。ただ、文化芸術は今いろいろなところに波及効果がありますので、その部分も考えてよりよい効果的な展開ができるように他部局とも連携する。こういう、立て付けであるという理解でよろしいですか。</p>
事務局	<p>間違いありません。</p>
委員長	<p>また具体的なところについて、コメントがあれば後ほどお願いいたします。</p> <p>それでは席次順で、次の方コメントを頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>この基本方針については、文化芸術基本法を見ますと、やっぱりそれ自体の範囲が広いです。なので、自然と広いターゲットになるのは仕方ないのかなというふうに思っています。役所では、どうしても計画を作ると、ターゲットや狙いとか、そこに議論が行きがちなんですけど、この分野については、かなり広すぎて、議論自体が難しいと思っています。逆に言うと、対象範囲が広すぎるので、少し言い方が適切でないかもしれないかもしれませんが、多少散漫にならざるを得ない部分も必ず出てくるし、こうせざるを得ないのかなと思います。</p>

	<p>あと、13 ページの第 4 章の「基本方針」の 5 番で「区組織の見直し」というところがあります。先ほど委員長もおっしゃっていましたが、役所の縦割りみたいな話があって、我々もこの書き方は大変わかりやすいものの、この基本方針の 5 つの項目に並べると、もう少し言い方は工夫した方が良いのかなと思いました。我々行政側はすごく理解しやすい部分ではあるのですが、区組織の見直しをしてどうするのかという点を基本方針で表さないと、まとまりが良くないと思います。</p> <p>あとは葛飾の特徴的なことも、全体を通して部分的に入っているということで、方向性としてはこのような感じではないかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この区組織の見直しについては私も少し思うところがあります。後程コメントさせていただきます。それでは続きまして、コメントをお願いします。</p>
委員	<p>前回、いわゆる概念からお話になり、そこまで戻る必要はないのですが、用語という点で、タイトルはアート・カルチャーとする一方、中で使っている用語が文化芸術なので、そのアート・カルチャーから実際使うのは文化芸術というようところは少し気になります。また、4 ページの第 2 章のイメージですが、文化・芸術とここだけ中黒が入っていたり、その他の文は文化芸術だったり、もしこのままにする場合でも、区民の方に聞かれた際にお答えできるよう整理されると良いのではないかと思います。</p> <p>あとは、区組織の見直しについては、なくても良いのではと思ったところもあります。ただ、一方で行政でこのような計画が策定された際、区として組織を変えなければいけないんだみたいな記載が全面に出ていないと、組織を変更しづらいとか、そういう風潮がある一面を考慮するならば、見直しと言うと、どうしてもマイナス要素を含みますし、今まで問題があったとかではない訳ですから、新たに進めるため、さらによくするんだという思考の用語の方を入れると良いのではないのでしょうか。例えば、計画を運営するための組織の再整備とか、そのような用語でまとめるとか、その方が良いのではないかと思います。</p> <p>後は 13 ページの 2 番目の、「多様な主体と結びつく人づくり」というところです。主体と結びつくと言いつつ、その後の部分が個人になっているんですね。ですので、結びつくという点あまり見えなくて、個別で活動するような、各所で活動するけど、結びつくというところの部分の柱がないなと思いました。2 番の説明文の「分野が世代を超えた様々な交流の場の機会を創出し」というところに対する説明があった方が良いと思います。また、若手アーティストの育成支援とクリエイターの活用というのは、これは個別なのでしょう。例えば、後継者育成で若手を入れるといっても、高齢者の多い団体に、若い人はあまり入りたがらないと思うので、何か若手の団体とか、団体も含めた支援という方が、団体が育ちやすいのではと思いました。ここは個人な</p>

	<p>のか、団体なのかというところと、主体と結びつくという点をもう少し盛り込んだ方が良いのではないかと思います。</p> <p>あとは15ページの「地域経済の発展における新たな魅力づくり」のところ。ここは、文化財という言葉がありますが、葛飾区では、文化資源という言葉は使われるのでしょうか。この資料20ページの、下町情緒溢れる街並みを活かしたいとか、サブカルチャーの街と認識されている葛飾区とか、葛飾区の良さはこういうもの、というところで、例えば漫画のキャラクターを活かしたまちづくりを充実させるとか、そういうのがあると良いのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、次の方よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>細かいことを言うときりがないし、これを策定して、どこの部署が予算割りしてとになったらかなり無限大な気がしていますが、市民とともに状況を作っていくという側面をより強調するという部分をやるにあたってはやっぱり、その間に入る指定管理者や団体さんが重要になってくると思います。僕が気になった部分としては、この(仮称)かつしかアート・カルチャー基本方針というところからの、このサブタイトルですね。サブタイトルがちょっとピンとこないというか、長いなと思ってしまいます。何かすごくモヤモヤするといいますか、アート・カルチャーは少し斬新な感じがする一方で、サブタイトルが弱いんですよね。アートとはこうなのかなというのと、人との繋がりや新たなまちづくりの基本方針だとか。多分この標語が、下のすべての細かいものを物語らないといけないので、ここはもう少しドキッとするような、こんなを目指したいなとワクワクするようなものであってほしいと思いました。これに従って細かいものの動きや、この未来創造なんで、細かい項目は各分野でやっていただいてもいいけど、結構この目指すべき未来像が重要なのかなと思いました。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>なにか具体的にこんなものとかのご意見はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>僕は渋谷区と一緒にやる機会が多いんですが、渋谷区では「ちがいを ちからに 変える街」といった出し方をしています。これはすべてにおいて当てはまると思います。要は高齢者であったり、障害者であったり、アートであったりっていうような。何か、もう少し短くてもいいし、結構後半で細かく言うので、ここで説明的になるのは違和感があります。こういった言葉を作るのは素人で考えるのは難しいですし、まあまあ良い言葉を作り出すというのは難しいんですけど、アンケートからこういった課題が出て、やりますというところもありつつ、なんかやっぱりワクワクしたいなという気持ちがあります。芸術、アートを司る人としては、あっ、と思うような項目もありつつ、バランスが大事です。なんか顔色伺って作るのは本当に芸術かな、アートかなって思う部分もあれば、それはバランスだと思います。中には、おっと思うよう</p>

	<p>な、やっぱアイキャッチはこんなことやるのっていうような、何か斬新さや新しさも交えつつ、押さえるところを伝えるような、なんかそういった、きちっとした面白さがあるといいのかなと思いました。</p>
委員長	<p>確かにちょっと長いし、説明的ですね。</p>
委員	<p>これを隣の町でやっても、何が違うのかなとなってしまうと思います。キャラクターを生かすというのは結構強い感じあるんですけど、でもそれは結構過去のものだと思いますし、文化財もそうです。そういったものをフォローしつつ、やっぱ若い人や子供たち、未来を打ち出すようなものがちょっと欲しいなと思います。</p>
委員長	<p>アンケート調査もしていて、自由記述もとっていますから、これらを勘案して、葛飾区民が、「葛飾区」を考えたときのキーワードを何か抽出できるといいですね。例えば仙台市で以前文化振興計画を作ったときは、杜という字がキーワードになっていました。仙台は杜の都と言われておりまして、杜という言葉が出るだけで仙台について語っていることが市民の方々にも伝わるという状況でした。そういった共通のコンセンサスがあるようなキーワードがあると良いなと思います。基本計画等の上位計画の中で出てきたりはしていませんか。</p>
委員	<p>杜の都のイメージはわかりやすいですが、それと並ぶようなイメージは中々難しい。</p>
委員長	<p>そこはまた、この後、コメントがあれば、ぜひお願いします。</p>
委員	<p>葛飾の「葛」と「力」で「葛力」はどうかと思いましたが、今調べたらもうすでに福島県で一般社団法人葛力創造舎っていうところが使ってます。</p>
委員	<p>産業フェアでも同様のことをやっています。</p>
委員	<p>なんかこうやって合点がいくような、これ面白いと思うものがあれば。これは1つの例ですけど、なんかもじって使うような言葉と言葉でアートっぽくなったりすると良いなと思います。なんかこれを作って、やっぱり足立区や荒川区が面白いと思うような、違う区でこんな面白いもの作ったよとみんなに言ってもらいたいような、うちの町にはこの方針があるよと思えるような、そういったものがあると面白いと思います。最初のつかみが重要かと。</p>
委員長	<p>葛飾区民がどう思うかというところをよく考えていただければというふうに思います。ありがとうございました。</p>

	<p>それでは、席順でご発言をよろしくお願いいたします。</p> <p>委員 私からは、第1章の図式で示されていたところです。この基本方針が上位計画に付随するという位置付けなのですが、これには違和感があります。基本方針は上位計画の方ではないのかなと思いました。例えば中期実施計画の中に文化芸術の計画が組み込まれるのはどうなのかなというのを、資料をいただいたときに感じました。</p> <p>あとは第2章の「葛飾区の現状と社会状況について」です。ここでは結構課題も示されていて、さらになんか広い範囲で書かれているので、もう少しコンパクトにしても良いかと思います。</p> <p>あと第4章ですが、2番の項目で多様な主体との結びつき、人づくりの部分というのは、やはり中間支援的な要素を組み込んではどうかと思います。コーディネーターや中間支援等、つなげる役目というものを、方針の中に入れて考えたらどうかと思いました。</p> <p>それと、先ほども出ましたが、全体的なアート・カルチャーという方針の下につく構成の部分です。ここは何かキャッチーな掴みがあると良いと思いました。</p> <p>ただ、委員のおっしゃったように、かなり広く取るという意味では鋭くせずに、ここでは広く取って、具体的な案のところ、エッジの効いた、何かパンチの効いたものを入れていくのも1つの方法だと思います。ちょっとここは皆さんのご意見も聞きたいなと思います。</p> <p>委員長 ありがとうございます。1つご質問が出たかと思います。中期実施計画とか基本計画とか基本構想の中に、文化がどういう形で触れられているかということかと思いますが、そのあたりご紹介いただけますか。</p> <p>事務局 この資料2ページ目、策定の趣旨の3段落目、4段落目でも文化に関する記載があります。そこに記載したとおり基本計画、中期実施計画の中で、文化芸術に関わる取り組みについては、計画を立てて実施しているものになりますので、委員がおっしゃるように、この位置付けに関しましては、(仮称)かつしかアート・カルチャー基本方針は下ではなく、この基本計画、中期実施計画に組み込まれているようなイメージ図であって良いかとは思っています。</p> <p>委員長 ありがとうございます。もう少し具体的に言うと基本構想の中でも文化について触れています。葛飾区基本構想の中、つまり一番上位計画の中には、「葛飾らしい文化や産業が輝く笑顔とにぎわいあふれるまち」ということが掲げられていて、今回の基本方針にはそこに書かれているような内容が盛り込まれる、さらにその下の基本計画においては14項目があって、そのうちの1つが「観光・文化のまち葛飾」推進プロジェクトという理解でよろしいですかね。つまり盛り込まれてはいるが、独立して何か計画</p>
--	---

	<p>になつてるということではないので、今回、(仮称) かつしかアート・カルチャー基本方針を作るという、そういう組み立てになつている。基本構想から始まり、基本計画があり、そして中期実施計画があり、それぞれを踏まえた上で、より戦略的かつ詳細な方針を今回作る。そういうことが実施されて、明示されるような形で示して欲しい、そういうご意見で良いですかね。</p>
委員	<p>そうですね。このイメージ図だとその下に基本方針があるという位置付けになると思います。今ここで話し合われる基本方針は、この図式では示せていないのだと思いました。</p>
委員長	<p>多分、行政的には、区の基本構想が一番大きいと思うんですけど、それに基づいてできた基本計画、それを実施するための中期実施計画とか、それぞれの構想と計画と実施計画に基づいてこの基本方針を作っていく、という形になろうかと思います。方針ですので、完全な計画というよりは、少し他との連携も図りますので、より自由な形で方針という風を作るんであるかと思いますが、そこはちょっと事務局からもう一度、ご説明いただいたほうがいいですかね。</p> <p>つまり、基本構想があつて、それに基づいて基本計画があつて、さらにそれに基づいて中期実施計画があるという中で、今回作る基本方針は、それぞれを踏まえながら、文化と芸術の分野に特化した方針を作るということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>今の議論を踏まえて、その位置付けとするのであれば、葛飾区はこういう感じで文化をやっていくという、宣言的な方針であれば、あえてこのような位置付けはなくても良いのかなと思いました。</p>
委員長	<p>区の基本構想は、葛飾区の全体像を示しており、今回の方針は、葛飾区の文化をどう推進するかという方針を作るということだと思ふんですけども、勝手に作るわけにはいかないのです。</p>
委員	<p>上位計画との整合性を取る必要はあるとは思いますが、基本構想や基本計画であったり、実施計画は具体的な事業計画みたいになりますが、今回の基本方針が、実施計画の下位なのかと言うと、そこは違和感を覚えます。ただもちろん、それぞれの計画を作る際にこの方針の考えや目指すところを取り込んでいくし、逆に今回の方針を作るにあたっては計画との整合性、これはきちんと取っていく必要があります。ですので、必ずしも方針が上位か下位かという位置付けをする必要はないのではないかと思います。これですよという形で連携とか整合をとっていくっていう方が、いいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、並立という方向で整理するということがよろしいですかね。</p>

	<p>おそらく基本構想に盛り込まれている事柄については、今回の方針においても何等か記載はないといけないと思いますが、それぞれの計画については基本構想よりも具体的なものなので、こことは整合性を図るという形で、別立てで書けるのかなと思います。</p>
委員	<p>どうしても作りたければ基本構想の下にあるけれども、あとは基本計画であったり実施計画とは連携とか整合という形で記載すればいいのかなと思います。</p>
委員長	<p>このような形でよかったですよね。</p>
委員	<p>はいそうですね。区民が見て位置付けがイメージできるように見える化していただけると有難いです。</p>
委員長	<p>それでは最後になりますが、続いてコメントを頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>僕が少し懸念を感じたのが、今回アンケートを取っているのは団体がほとんどですよ。つまり、もう既に文化活動に取り組んでいる人たちの意見を聞いて、融通を聞くだけという枠組みになってしまうのではないかと思います。それ以外の人達を集めたいと言っているのに、その人たちを置き去りにしている方向に行っているように感じています。先ほど、タイトルもキャッチーなものという意見が出ていましたけど、やはりそのイベントの中身含めて耳鼻をどう集めていくか、枠組みを作っただけでおしまいになってしまうケースがすごく見られるのですが、せっかく作った枠組みに対して、その中身をどう耳鼻を集めて盛り上げていくかということの方が、実は、重要なのではないかなと思います。取り組みの柱がここまで出ているので、その個々の取り組みの中身のクオリティをどう上げていくか。やはり耳鼻をどう集めて、面白いものを作っていくかがすべてではないかと思います。個々の文化、何1つとっても魅力のあるものなので、それをどう生かして、多くの人に見てもらえるものに仕上げていくかというところが、結果として広がりを見せていくものだと思うので、すごくミニマムな細かい部分でのクオリティをどう上げていくのかという方が重要だと思います。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。今のアンケート調査は団体さんにアンケートを取っていますけれども、区民モニターもとっているということで、この時間的制約の中、多様な主体から情報を得る努力はされているということかと思えます。このモニターがどこまで区民の意見を集約されているかというのはちょっと難しいところですけども、400近く集めていますので、サンプルとしては大丈夫でしょうと思います。あとはクオリティをどう上げていくかというところをどこに書き込むのかというあたり、もし具体</p>

副委員長	<p>的なコメントがあればぜひちょうだいしたいので、この後、二巡目のところで何かあれば、ぜひお願いいたします。それではお待たせしました。</p> <p>短い期間の中で調査いただいて、様々なことが見えてきた点は、非常に重要な一步だったと思います。今日配布された資料の参考資料4が非常にわかりやすいので、これをもとにコメントさせていただきますが、この左側の18項目というのが、いろいろな調査から出てきた課題ということで、これをきちんと調査で捉えきれているかという点ではありますが、ただ、アンケートで取れない部分をヒアリングで聞くとか、文化関係だけではなくて子育てとか、障害者福祉の団体とかにも聞いてくださったので良かったなと思います。この出てきた課題から、右側に取り組みの柱というのがあって、今日の検討資料の方ではこの取り組みの柱をさらにブレイクダウンして、こういうことやりますというのが書かれている体系になっていると思います。ただ、これを拝見すると、取り組みの柱に書かれていることが、課題を解決するために何をやるかという取り組みが書かれているところと、この課題とは何かという、課題の要約をしているところが混在している書き方になっています。一番上の誰もが身近に感じ体験できる機会の創出とか、(4)の地域経済の発展における新たな魅力づくりはこれ左側に書いてあることを、ある意味要約しているだけだと思います。その他のところは、こういう課題があるのでそれに向けてこれをします、この組織の見直しについてはどうなのかという議論があるかもしれませんが、体系としてはそうなっているので、書き方としてはやはり、取り組みの柱はその課題を解決するために何をするのかという書き方をした方が良いなと思います。そういう中では、私もやはり一番上の機会ですね。きちんと保障していくことは基礎自治体の役割としてとても大事で、すでに活動をしている人はある程度それが満たされている。そうじゃない区民の方はどうアプローチするのか、或いは、いろいろな区民と言っても在住の方だけじゃなくて、在勤の方とか在学の方とか、或いは住所がないけれども区内に住まれているような方がいらっしゃる、そういう方々にどうアプローチするかということが大事だと思います。具体的などころを見ると、例えば各地域でのイベント支援の充実と書いてありますが、その説明もイベントの充実を図りますということで、抽象的な説明だと本当にこれで解決できるのかなという感じがしてしまいます。この機会の創出に関しては、前回の策定委員会で、子育て団体とか、福祉の方とかいろいろインタビューした方が良いですよと言ったところとも繋がるのですが、例えば、様々な活動をしている団体とのネットワークを強化していくとかですね。最初に私が取り組みの柱を見たとき、多様な主体と結びつく人づくりで書いてあったのを見て、これがこれの解決策なのかなと思ったら実は中身が少し違っていました。例えば、この機会を創出するところに、今すでにやっている文化施設とか文化事業の予算を増やせるなら変わるとは思いますが、それが難しいとすれば、子育ての団体や福祉団体とか、国際交流の団体とか、まちづくりの団体とか、そういう団体と連携してネットワークを作って、その分野の人材育成を</p>
------	---

	<p>することで機会を作ってくということであれば可能性があると思います。</p> <p>今回、インタビューしていただいた、子育てとか障害者福祉の団体については、既にアートにはある程度意識を向けて活動していらっしゃいますが、多分それは福祉団体の中の中でもほんの一握りの先端的なところだし、子育ての団体の中でもかなり上の方だと思います。これをすべての子育て団体とか福祉団体まで広げていけば、すごく機会を作ったりできるので、そういうところにアプローチしますとかですね。取り組みというところは、何かこれまでになかった新しいことをやることで、これを変えていくという項目を書き込んでいった方が良いですし、そのためになるような調査も今回できたのではないかなと思います。ですので、そのような書きぶりに変えるとともに、具体的な施策について、要するにこれを充実しますといった、トートロジー的に変えても多分何も変わらないので、どういう変化を起こすのかという視点で、もう少し事業を見直していったら良いのかなと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。この辺り、どういうことを書き込むのかという内容についてもですね、今ネットワーク化というお話も出ましたが、ネタをですね、事務局の方に、ぜひコメントとして頂戴できればと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>最後に私の方からコメントさせてください。特に、組織の見直し、この取り組みの柱の(5)なんですけれども、ここだけが非常に違和感を覚えるところです。なぜかという、組織の見直しもあってもいいと思うのですが、これはあくまでツールですね。ここは柱ですから、いろいろなことをやるための大きな柱が立っているのに、非常に小さなツールについてのみ書かれているので違和感があります。</p> <p>また、役所的に言うと、区組織の見直しはめちゃくちゃ大変なので、もう既にある程度腹案があって、内部調整も整っていて、方向性が見えてきていて、ここに書き込むことでよりスムーズに行くといった状況であれば、是非記載したいところですが、そうなのでしょうか？と言うのがまず質問です。</p> <p>もしそうであれば、是非ここに書き込んでいただきたいとは思いますが、書きぶりについてもちょっと考えた方が良いと思います。また、もしそうでないのであれば、ここの(5)はですね、例えば「推進体制の強化充実」くらいにしておいたらどうかと思います。この方針は、非常にターゲットが大きくて、様々なことが含まれて、いろいろなところと連携しなければいけないので、まず第一に、行政ができることとできないことがあります。行政でできないことも、商店街や地域がより適切にできるというところもあるし、民間の団体や企業もあるという中で、行政ができること、行政の中でも、文化の担当ができることは非常に限られている、教育委員会もいらっしゃるし、他の産業部局もあれば福祉の部局もあって、そこは協力していくことでwin-winな関係が作れないとうまくいかないところなんですね。なので、ここは区組織と一気にいかずに、いろいろな推進体制としてはどうかと思います。例えば</p>

中間組織の話もありました、コーディネーターさんをどうやって作っていくのか、育てていくのか、その時に行政が直接支援するというやり方もあるでしょうが、場合によっては、条件整備だったり、場の整備であったり、何か交流の場を設けるとかですね、先ほどお話があったネットワーク化するとかによってさまざまな主体が動きやすくするといったことも考えられます。また、地域とか商店街だったりするとですね、何かイベントをやる、例えばお祭りのときに規制緩和するといったことはとても大事なことのただけで、そういった権力を持っているところと交渉するとか、いろいろなやり方があると思うので、組織自体を見直すことに否定的ではないのですけれども、むしろもっと大きな推進体制の強化というところを打ち出して、その中に、中間組織とかですね、大学福祉、地域団体、子育て関係とか、高齢者とか、商店街とか、産業とか、企業とかいろいろあるのですが、そういった多様な主体との連携ネットワークの強化、そのためのシステムの構築とかを盛り込む。庁内であれば横断的なプラットフォームを作って、情報共有を図るといったこともあると思います。それからまた必要があれば窓口を整理する、一本化するといったようなオプションが結構たくさんあるパッケージとして作った方が、実践的で、より効果的じゃないかなと思うので、ここはぜひ文章を検討していただきたいと思います。見直しがどうしても欲しいというのであれば、そのうちの1つとしてですね、区組織の見直しも含めた再整備とか、そのような文言をその中の1つとして入れていただくといいかもしれません。ネットワーク化もあり、連携もあり、庁内の横断的な情報共有システムの構築もあり、やはりその中の1つとして、必要に応じて区組織の見直しを含めた整備を検討ぐらいのことを入れておいて、必要に応じて柔軟に対応できるようにするというやり方の方が良いかなというふうに私自身は思っております。

ほかの委員の先生方もおっしゃったところなんですけど、この13ページの「多様な主体と結びつく人づくり」は、文言の整理が必要かもしれません。例えば、次世代育成は確かに大事なんですけど、若手の方に焦点が絞られすぎている感じがするので、例えば若年層を取り込む工夫とともに、次世代のアーティストの育成とかですね、幅を持たせた内容を反映していただければと思います。

また、若手アーティストという表現と、クリエイターという表現が並列していますが、違いは何でしょうか。また、発表の場の提供とかありますし、文化活動団体の支援等もここに入っているのですが、表題の書きぶりが後の項目と合わない感じがしますので、再考していただければと思います。私からは以上です。

一応一巡いたしましたので、ここからは、挙手でいろいろな項目についてご意見を頂戴できればと思います。さきほど副委員長からご指摘いただきました、この参考資料4、そして資料12ページ、このあたりが今回、大体のことを決めなければならない事柄かと思っております。つまり枠組みと、その方向性ですね。ここに付きまして、もう少しコメントを頂戴できればと思います。どなたからでも結構ですので、またどのような

	<p>項目でも結構ですし、この立て付けにかかわらず、細かい点についても、書きぶりについてもですね、何かお気づきのことがあればぜひお願いします。</p>
委員	<p>この参考資料 4 が課題と取り組みの柱がそれぞれ紐付いているということなのですが、この課題の記載の仕方が、何かもう少し書きようがあるのではと思いました。今は1から18の記載がありますが、例えば文化に触れる体験の話が1から4であれば、そういうふうにしつづつ括って、課題と書いてあるけど、だから機会が少ないってことですよね。だから、課題は少ないとか、不十分という言葉で課題になって、それらに対応する取り組みとしては機会を作るんだとかですか。だから、むしろその課題の方をもう少し整理しても良いと思います。あと取り組みの柱の5については、もう少し大きく捉えた方が良いのかなと思います。</p>
委員	<p>私からは提案なのですが、課題から導かれた取り組みの柱という形ではなくて、取り組みの柱、葛飾区は何がしたいんだというところを挙げて、そっちを固めてはどうかと思います。そうすると自動的にこちらの左の課題は解決される。なので、ビジョン、まずどうなりたいかというところでそこから示されている課題の方に結びつけていくというのはどうかと思いました。</p>
委員	<p>アンケート調査の総括のところでも、似た内容が書かれているので、今おっしゃられたように5つの柱があって、少し中身も見直しつつ、という手法も整理の仕方としてはあると思います。</p>
委員長	<p>参考資料は参考ですので、あくまで考え方を整理したということをお見せしたい、委員の方々と共有したいということだと思います。ですので、事務局的には、この資料の中で、区民意識調査の分析で書かれたことから、それとヒアリングから得られた課題というのはこういうものだというふうに整理して、それぞれに合った形でこの柱を作りましたという、この説明部分のプロセスを提示するということだったと思います。なので、これ自体をこの基本方針に入れるかどうかということも含めて検討する必要があるかと思います。重複が多いので、ここの部分はなくてもいいかなという感じがいたしますが、こういう課題に基づいて、取り組みの柱を5つ作りましたよということなので、これについて何かご意見等頂戴できればと思います。また課題については、機会が少ないとか、不十分であるという認識に基づいて、機会をより多く創出していくために、いろいろなことをしますというのが、最後のところになると思います。</p> <p>触れる機会が少ないとか、そういうのが課題であるというアンケート結果が出ており、先ほど副委員長がネットワークづくりの中で、福祉とかいろいろな団体とのつながりをとという話がありましたけど、多分いろいろな団体が活動している中では、芸術や文</p>

	<p>化とは意識しないで活動していると思います。その中で、日常生活の中で当たり前に行動していることがアート・カルチャーに繋がっている。芸術とは思っていないけれども、例えば、地域の活動の中で輪踊りを練習していたりとか、いろいろな歌を歌っていたりとか、そういうことの1つ1つが、葛飾区民としてのアート・カルチャーなんだよという見方があるので、葛飾区民みんなが触れていないのではなく、普段の生活で十分私達も文化的なんだよ、といったメッセージを出せると良いと思います。そこはアンケートでは見えない部分だと思うのですが、いろいろな地域活動を見ていると皆さんいろいろな活動しているので、何となくその温度差を感じました。</p>
委員長	<p>資料2 ページの趣旨のところですね。この後すぐにアンケートの記述になるんですけど、葛飾区というのは、実は江戸時代から伝わるその伝統文化、お祭りもあれば、花づくりであったり、様々な形で文化的な活動がずっと行われてきたところである。だからこそ、国選定の重要文化的景観が残っている。そういう歴史的な部分も踏まえて総括した上で、それがまた現代的な漫画とかアニメとかキャラクターとかにも実は繋がっているというようなことをどこかでワンパラグラフ入れることで、このベースに基づいて、今回この基本方針を作って、より効果的で、皆さんが幸せになるような、そういう暮らしに結びつくようなものにしたいというようなことを盛り込むということですかね。</p>
委員	<p>団体ヒアリングの中で、葛飾区ではクラシックとかそういうものの土壌が低いみたいな言葉が出ていますが、文化とはそれだけではないと思います。そうではなく、日常の活動で我々も誇りを持って文化的なものなんだということの、文化というものが、自己認識とか発見とかでそれを発信するみたいな取り組みなり、何かが入ってもいいんじゃないかなと思いました。</p>
委員長	<p>そうしますと資料2 ページの第1章の趣旨のところ。2番目か3番目ぐらいのパラグラフの中に「葛飾区というのは、こういう、(気づいてないかもしれないが)非常に文化的な地域である」ということを一言入れていただく形でよろしいでしょうか？</p>
委員	<p>そのような形が良いと思います。あとは取り組みの柱のネットワークづくりの中で様々な活動の発見・発信、横の繋がりといった、敷居が高い文化以外の部分も含めた感じになればいいと思います。</p>
委員長	<p>では、まず趣旨のところ一度触れていただいて、関係するところで折に触れ、必要なところをプロットしていくという感じですかね。</p>
委員	<p>趣旨の話がされているので、一つ。どうしても基本方針を作ったら、区民がどう言っ</p>

	<p>てくるかということ想定してしまうのですが、マイナスな言葉はあまり使わない方が良いと思います。文化芸術を愛している人からしたら、文化芸術は素晴らしいものだと思っています。そうしたら、下から3行目の固定観念的な堅苦しさというのはない方が良くないかと思いました。文化芸術を愛している人の中には、文化芸術は固定観念的な堅苦しさはないよと思うだろうし、細かい話ですけど、良い方針を作るには、あまりマイナスな言葉は多用しない方が良くないかと思っています。</p> <p>また、先ほど高齢者、障害者というところと、若手に配慮し過ぎじゃないかという話について。今、若手支援事業は結構東京でもやっていたり、若手というのを意識している傾向があると感じるのですが、よく言われるのが、俺たち高齢者は対象になっていないじゃないかというような団体の意見が少なからずあつたりします。そのような観点から私は、P13の1の高齢者や障害者という要望を入れつつ、2のところでは、若手というようなことを入れて整理されたのだからなっているというのは、すごく理解できました。実際、今はアクティブシニアがすごく多いので、高齢者だからどうというのはないのですがただ、高齢者を配慮するというのは、話として大事なんじゃないかなと思います。若手だけというのは言われたりすることはよくあります。あとは、先ほど区組織の見直しという中で推進体制の強化というアイデアをいただいた中で、1ヶ所気になる場所があったのですが、3番の「文化芸術振興拠点と情報発信の強化」というところ。この用語自体は良いのですが、この下の「ホールの適切な管理」については、文化芸術振興の拠点の強化を目指す中で、やることはホールの適切な管理というのは物足りなさを感じます。そこは文化芸術振興の拠点としての再構築といった用語にした方が良くないかと思いました。一方で先程の推進体制の強化という枠組みになるのであれば、この文化芸術の拠点もそこに入って良くないかとも思います。ネットのサービスも充実して欲しいとかであれば、それは推進体制に入るのではないかと思います。もし、この部分はそういう形にするなら、施設の体制という形にするのが良くないかと思いました。</p> <p>ただ、そうすると3番では文化芸術振興の拠点という用語がなくなってしまうので、情報発信の強化という用語だけになってしまうのは気になることです。</p>
<p>委員長</p>	<p>いろいろなご意見を賜りましたが、事務局の方で確認をしておきたいようなこと等ございませんか。</p> <p>別の個所ですが、高齢者、障害者への配慮と記載がありますが、気になります。例えば、多様な人々が、必要に応じて、問題なく満足できるような形で、文化芸術にかかわれるような条件整備といったより包括的な記載でもいいのかと思います。そうであれば、高齢の方だけでなく、様々な障害や不自由さをお持ちの方がいらっしゃることを認識したうえで、場の整備をすとか、バリアフリー化すとかといった具体的な対応につながると思います。</p>

委員	「誰もが」という言葉を入れるのがいいと思います。
委員長	いいと思います。あと、言葉の問題がある方には多言語化も必要になるでしょう。なので、誰もがという書き方がよろしいと思います。ただ、その中でもどうしても必要であれば、事例として、高齢の方とか障害をお持ちの方とか、そういう方々にも配慮すると特筆する。或いはそれもなくしてバリアフリー一本でいくとかですね、そういう、配慮も必要かなと思いました。それではほかにご意見はございますでしょうか？
委員	僕は足立区で文化・読書・スポーツ推進委員会に関わっていますが、この手のものは制定された後、これが実施できているかという評価をしなければいけない。それで今この出せる課題というのに対して、どれぐらい昨年度と変わったのかというのを見ていて、そうすると、ここは多分評価するときのアンケートの項目になるんですね。例えば、課題の8のイベント時における人手の支援というのが、果たして昨年度とどう変わったかという話になったときに、基本的にこの辺がわかりづらいと、具体的にどう変わったのかというのが見えなくなってしまう。例えば足立区でもプラットフォームを形成するとか書いてしまって、これみんながわからなくなるじゃん。自分たちで課題を作ったのに、プラットフォームっていう概念自体を考え始めて、これもいいのではという曖昧なことを言い始めたりということがありました。要はこのアンケートを取ったときのパーセンテージとして上がるのが、1つ次のアクションに繋がると思うので、どう前回のアンケート結果から上がるかという状況をいかに作るかというのを、この課題のところで、もう少し明確にした方が良いのかなと思います。
委員長	具体的にここというのはありますか。
委員	イベント時における人手の支援とか、あと工夫というのもわかりづらいですね。工夫できましたとはどう判断するのだろうかということだったり、ちょっと難しいですけど、ただそれが多分これ作った時点で、逆に想像できるとは思います。
委員	この部分がこう変わったというのが評価できるようなイメージの書きっぷりということですね。
委員	わかるような数字が、来場者が上がるであったり、今までにないイベントを何回実施したかというのであれば良いと思います。例えば、寅さんやこち亀というのが、もう少し多くのお店で使えるような仕組みを作って、区民の皆さんが、なんかよく見るねというのが増えたり等。要はアンケートを取った人たちが今の体感で取っているわけじゃないですか。イエス、ノーというような。これが何か増えるようなことを書けたらいいなと思いました。

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。この方針ができて、さらに具体的な実施事業が行われたときのK P I も一応念頭においてみるといいかもしれません。普通K P I だとやっぱり利用者数とか、その満足度とか、事業数とかが多いわけですがけれども、おそらく何年かに1度は、こういうモニタリングのアンケートをとることになるでしょうから、そういったときに経年変化が見られるように、具体性を持たせつつ、でも、自由度を失わないような書きぶりというところで、ちょっと難しいところですけど、お願いしたいという感じですかね。</p>
<p>委員</p>	<p>全体の資料を見て、流れ的にこれは不要ではないかと思っている部分がありまして、検討資料4 ページの第2章ですけど、葛飾区の文化芸術に係る現状と課題の1番、「本区の現状と社会状況について」。流れ的に1から13まで、これ全部いらないと思っています。ここを除いて区民意識調査分析や、アンケート調査に移っても全然違和感がない、むしろこれがあると何かやっぱ変な感じだなと思っています。これだから全部、この一番は取ってしまってもいいのかなと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>かなり大きな変更になりますが、確かに、他に比べてここは少し冗長な感じがします。3章、4章と大きい部分があるにも関わらず、ここはちょっと長いかもしれません。この（仮称）かつしかアート・カルチャー基本方針の位置付けをちょっと変えていただくときに、ざっくりと葛飾区が抱える現状と社会状況について、他の自治体も同じかもしれませんがけれども、簡単にご紹介いただいて、それで文化の方に入って、実際の方針とか、柱のところとか、その説明ぶりを充実させるという方向で調整していただくということにいたしましょうか。</p>
<p>副委員長</p>	<p>ちょっと私が気になっていたのが、この目指すべき未来像というところで、人と人の繋がりが新たな魅力や活力をつくり続けるまちかつしか、と書いてあるのですが、その人と人の繋がりという、どういうイメージで、区民と共有するかというところは議論しておいたほうが良いと思います。10年くらい前に品川区のプランを作るのをお手伝いし、そのとき品川区の特徴というのを検討したのですが、東側の方とか下町とは違うけれども、品川区は、世田谷区や目黒区や港区とは違って、ちょっとおせっかいな地域性があるということでした。東急池上線の沿線ぐらいただと、ちょっと狭い商店街だったらまだまだ元気、ちょっと近所の人に声をかけるみたいなどころ、でも下町ほどの結束はないという区別をされていて、やっぱりちょっとおせっかいという、「ちょっと」が大事という、なんかそのニュアンスで、人の繋がりみたいなものを表現して、それで品川区の1つの暖かさというか繋がりみたいなもののプラン、当時は文化とスポーツと両方合わせたプランを作って議論しました。</p> <p>また、港区だともう最初から多様な人と文化が共生する…なんです。だからそれがあ</p>

	<p>まり繋がっている前提でスタートしないのですが、多分葛飾区の場合は、寅さんだとか、こち亀だとかのイメージを持ってはいるけれども、実際に住んでいる人は、そんなに代々住んでいるわけではなくて、とても便利な場所なので、マンション建って住んでいるみたいな人も、そういう新住民の人が非常に多い中で、本当に地域の人が共有できる葛飾区における人と人の繋がりとはどういうものなのか、ということ共有しておいた方がいいかなと思います。</p> <p>ちょっと葛飾区に住んでいなくて実感がないので、あまりこうするべきだということが言えないのですが、実際に地域の活動をされていたり、住まれている人の実感としてどうだろうかとか、多数派を占める居住年数がまだ少ないマンション住民みたいな人達が、やっぱりこれが葛飾の魅力だよなと思って共有してくれるような、人と人との繋がりを言語化できておくと良いなと思いました。ちょっと抽象的でしたが、目指すべき姿からブレイクダウンして、取り組みとかを決めるのがいいと先ほど意見がありましたけど、それを考えるときに、目指すべき像が何かというところが多分一番大事になってくると思うので、そこに関わる部分を、方針を完成させる前に議論がしたいなと思ったところでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>このところはいろいろな方から、いろいろなご意見があるところかと思えます。</p> <p>目黒区は文化縁ということで、文化で繋がるというコンセプトを大切にしていますし、台東区は江戸文化。浅草寺があって、谷中があって、上野があるということもあります。世田谷は意外にハイソだけどお祭りが好きという、そういう路線で、結構LGBTQ等もはっきりと視野に捉えた記載になっている。新宿は多様性ですね。ゴジラにムーランルージュにライブハウス等、23区でもそれぞれ個性があり、条件も区民意識も違うので、多分葛飾区にも他と違う本質があると思うのです。基本構想を今度じっくり読んでみようと思っていますけれども、そういうところ、私も葛飾区に住んでいないので何とも言えないんですけど、コアになることがあると思うので、副委員長がおっしゃるように言語化ができると、区民の皆さんに刺さるかなと思います。</p> <p>それでは、このあたりで、議題の2-3につきましては、終了したいと思います。</p> <p>またさらにコメントとかあれば、事務局の方にメールでも何でも結構ですので、お伝えください。</p> <p><b>【議題4 今後のスケジュール（予定）について】</b></p>
<p>委員長</p>	<p>それでは続いて議題の4、今後のスケジュールにつきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>

事務局	<p>(仮称) かつしかアート・カルチャー基本方針策定スケジュール（予定）について、をもとに説明させていただきます。次回の10月25日、第3回基本方針策定委員会についてになりますが、こちらの方は新たに庁内意見調整の結果報告というものを付け加えさせていただきます。</p> <p>議論の中にもありましたけども、各部署と連携をとって事業が進められるように、ご意見いただいているものを少し手直しした後に、基本方針案を庁内に展開をし、意見としていただいた内容を次回10月25日に委員の皆様にご報告させていただければと考えております。また、先ほどの目指すべき未来像については、次回も議題とさせていただきますつつも、その素案を全体的に見ていただいて、ご議論いただければと考えております。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。ただいまのご説明に対して何かご質問等ありますでしょうか。庁内での調整をされるということですけど。まず、今日いろいろなご意見が出ました。目指す姿の言語化は、引き続きのテーマとするとして、それ以外の直せるところは、庁内調整の前に直していただいて、1回先生方に見ていただいて、庁内調整に入り、さらに、修正が入ったものを、10月25日にいただけるという理解でよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。またこちらの庁内意見調整のところも含めまして、委員の皆様にご意見を頂戴できればと思いますので、よろしく願いできればと思います。</p>
委員長	<p>ということで、また各委員もいろいろご協力を、会議以外にもいただくことがあるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p><b>【議題5 その他について】</b></p>	
委員長	<p>それでは最後、議題のその他ですが、事務局からの連絡事項につきまして、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>今お話をさせていただきましたが、次回、10月25日の策定委員会まで残り1ヶ月という中ですが、いろいろご意見を頂戴したいと思います。メール等でご連絡させていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは以上で本日の議題はすべて終了となります。また次回、10月25日金曜日、結構時間がないのですが、場所はここの建物で開催予定です。次回もどうぞよろしくお願い致します。また次回まで、いろいろなコメントのやりとりも、あわせてお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございます。</p>

	た。
閉会	